

第一回コーディネーター国際集会

向かっています… 一緒に (En Route ... Together)

2014年5月18日～21日

初の試み：The Focusing Institute のコーディネーターだけのための
フェイス・ツウ・フェイスの二日半集会

この国際集会は革命的で、歴史上初めて、The Focusing Institute のコーディネーターたちが一定の期間集まり、私たちが何者なのか、どう一緒に居たいのか、世界の中でどうありたいのかを話し合います。私たちは自分たちをオーガナイズ（組織化）することができるのです。

私たちの知の縁に座り、私たちが何を欲しがっているのか、次に何が起こればいいのかを発見していくことになるでしょう。私たちがわかち合う将来に向かって、私たちはデシジョン・メイキングをし、行動をとることになるのです。私たちは広いスペースを守ることに真剣に取り組み、フォーカシングの過程と軌を一にするあり方で互いが一緒にいる方法を見つけしていきます。

私たちの言語的な多様性を自覚し、皆さんが母語で話すことを奨励し、それが可能になるように皆さんにお手伝いいただきたいのです。通訳者を雇う予算を私たちは持ち合わせていません。参加する方々が大きな心で通訳をする作業を助け合ってほしいのです。私たちに出来ることは、そしてすることは、通訳作業を考慮してゆっくり進むことなのです。

以下が現時点でのプランです。

スケジュール：

最初の夜、私たちは短いウェルカム、それから4人グループでのフォーカシングから始めます。旅の疲れや第三回国際 FOT 会議からの切り替えが必要と感じておられる方もいらっしゃるでしょう。そこで自分と同じ言語を話す方々とフォーカスしたくなるかもしれません。私たちは皆様の会議へのエントリーにできるだけストレスがないようにしたいと思っています。それからラージ・グループで集まり、ウェルカムの儀式として短時間のシェアリングをしたいと思います。

まる二日：

私たちは毎日フォーカシングから始め、それから8人グループへと進みます。テーマは予め決められていません。このようなスモール・グループは話す必要があることとお話しいただける機会となります。みんなで聴きましょう。ペースはゆっくりですから、言語の壁や内側とチェックする時間があります。そして単に知性でも情動でもなく、私たちのセルフ全体が現れるようにします。あなたにとっての真実を明確化し、世界中のコーディネーターたちとわかち合い、他者を深く傾聴する機会になるでしょう。このようなスモール・グループでフェイス・ツウ・フェイス、顔を合わせることは、互いを豊かにすること。繋がりやサポートはフォーカサーが集まると決まって育っていくのです。

午前中の最後はラージ・グループの部屋に戻り、オープン・スペースの手法を用いてさらに検討が必要なテーマや問いを特定していきます。このために、部屋を取り囲むように大きな筆記用紙パッドが配置されます。（同種のトピックは同じ紙面上にグループ化されます。）お昼休みには、歩いて回って紙面を眺めて、どのトピックが皆様の注意を引くかを感じとる時間がとれるでしょう。

午後は午前のグループから発生したことを用いた Open Space 関心グループのための時間をとることから始めます。皆様にとって最も活々して関心を引きつけるものについていくようにお誘いします。それが正しいと感じられるならば、途中で他のグループに移動するのもいいでしょう。このような関心別グループから閃き、提案や行動計画が浮かび上がってくるでしょう。

午後の始めには、皆様一人一人にとって最も生き活きたトピックの周りに集まってきた人たちが新しいグループが形成されます。（他のグループに移ることが正しいと感じられれば、それも可能です。）この午後のグループ討議は2時間です。

私たちはどんなトピックが浮かんでくるのか、事前にはわかりません。どんな話題も「立ち入り禁止」でもないし、「事前処方」されているわけでもありません。メーリングリストでは、次のような声が挙っています。

- 私たちはコーディネーターのコミュニティとして、どのようにプロセスして決断しているのでしょうか？私たちの「作業哲学」は何なののでしょうか？
- 私たちはどのように The Focusing Institute のガバナンスに最適に参加できるのでしょうか？どのような権限が私たちにとって正しく感じられるのでしょうか？

- 小さな地域的な会や国単位のグループが近年増えてきており、それらはフォーカシングに基づいた健全なあり方でオペレーションしています。The Focusing Institute はどのようにして、これらの善きローカル・グループを支持し、育てていけるのでしょうか？
- 私たちコーディネーターのグループはどのようにして、これらの善き地域活動を支持し、育てていけるのでしょうか？より大きなフォーカシングのコミュニティに対して私たちはどのような役割を担いたいのでしょうか？
- コーディネーターとはいったい何なのでしょう？新しいコーディネーターがどうやってできるのか、誰が決めているのですか？そしてそこには他の考え方はあるのでしょうか？
- 私たちはコーディネーターとしてどのように一緒に仕事をするのでしょうか、そしてこの会議以降、どのようにワールドワイドにコミュニケーションしていくのでしょうか。

これらの課題別グループから閃きや提案や行動計画が挙がってくることでしょう。

休憩の後、再びラージ・グループとして集まります。Open Space で何かを得た方はラージ・グループでその発見をわかち合うようお誘いします。毎日のラージ・グループはその討議から決断や行動のための形成された提案やその生まれだて、ヒナ鳥のような形のを拝聴する時間となるでしょう。

最後の朝には私たちが閃いたことを固め、用意ができ次第にデシジョン・メイキングをします。そして進むべき次なる一步を明確にします。

遠距離から関与する方法：

上記に示したラージ・グループのシェアリング・セッションは参加できない方々のためにビデオに撮影され、The Focusing Institute ウェブサイトのコーディネーターのリソースページにアップすることを考えています。これらは毎日のワークの中で出てくる閃きや決断や行動計画、さらには最終日の昼食前の最後の集いをも含みます。

次のステップとしてはボランティアを求めます。集会の長めのビデオファイルをシェア（あるいはストーリーミング）したり、その計画を集会で実行できる方々です。

これに加えて、皆様にご検討いただきたいのは、地域的な会合、電話会議などを総会に先立つ数ヶ月の期間に行っていただけではないでしょうか。よろしければ、同じようなフォーマットでフォーカシングをして、エッジをシェアして、どんな閃きや提案や行動計画が現れてくるのかを見つけるのもいいでしょう。

私たちは皆様の声プロセスの一部であってほしいと思っています。地域の集会から 5 分程度のビデオを事前に送っていただけませんか。私たちはそのビデオを集会でシェアし、皆様の地域の会合から何が浮び上がったのかを知りたいと思いますし、皆様のお顔をスクリーンで拝見したいと思います。私たちは皆様のご自身の言語で話しているのを聴くのも楽しみにしていますが、英語によるビデオのナレーションがあれば助かります。というのも、当日になって多様な言語からの通訳にボランティアしてくださる方々が何名おられるか今は予測できないからです。

国際集会の中で私たちはそれらのビデオをラージ・グループとシェアする時間を設けます。そのようにして、皆様のお考えがプロセスの一部に含まれていくのです。

関心とエネルギーがあれば、参加されていない方々が当日の討議にインプットするためにテレカンファレンスを夜間に設けることもあるでしょう。

私たちはこの間、メーリングリストもアクティブであることを願っています。それを通して昼間のセッションのビデオを観て応答することができるからです。集会の間、誰かがメーリングリストの書き込みをラージ・グループの掲示板に貼り付けるようにしたいと思います。

私たちは世界中からの多くの声やビジョンができるだけ含まれるように願っています。

八人衆 (Group of Eight) より

Ann Weiser Cornell, Marine de Fréminville, Hejo Feuerstein, Rob Foxcroft, Mónica Gómez Galaz, Jim Iberg, Akira Ikemi, Beverly Shoenberger